

平成27年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 平成27年10月1日(木)

# 吉川市立南中学校

## 技術・家庭 (家庭分野)

題材名「安全な住まい」家庭分野C 第1学年  
～災害への備えを考えよう～



身近に起きた自然災害(9月9日の大雨)、アンケートの集計結果、CMの映像から導入

## 参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

- 授業はもちろん、研究協議、指導者の指導等、大変勉強になることが多く、来てよかったと強く思っています。生徒の話合いを通して学ぶことが多いと感じました。また、家庭科では知識だけでなく、自分の家庭生活に生かす実践力をつけることが大切であることを再確認しました。
- 授業者の熱意、授業に対する取組が素晴らしかったです。さすがエキスパートだと思いました。また、小中連携が図られているところも良かったです。協議を通して授業中でのよさや工夫が明確になったのと同時に改善点も見えて大変勉強させていただきました。
- 生徒のグルーピングや事前のアンケート、家庭科室の掲示などとても参考になりました。授業のピリッとした雰囲気や普段の授業の在り方を物語っていたと思います。ありがとうございました。
- 家庭科は学校で一人というのが現実の中、他の教員の授業を見る事が少ない中での貴重な授業でもあり、更に(内容C)の中の「安全な住まい」の授業はとても参考になりました。



教師の防災対策を例示した見通し



各自、我が家の防災対策を記入

○今日の授業研究会で扱った題材を自分で教えた時に苦勞したので、「こういうやり方があるのか」と気付くことができました。また、このような授業研究会に参加したいと思いました。

○中学校の授業を見させていただき、よい機会となりました。ワークショップ型研究協議では、自分では気付かない視点をいただき、中学校の先生方の専門性と熱意に感動しました。

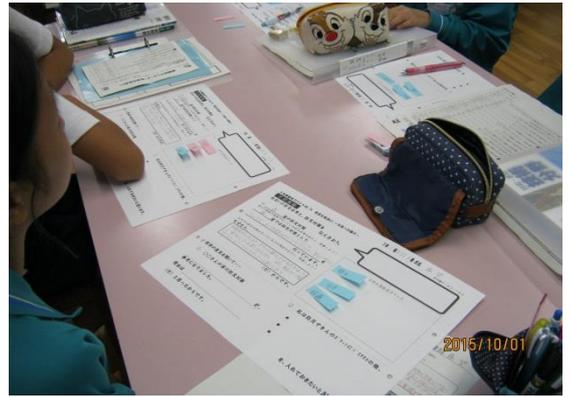
○吉川市で行っている小学校から中学校へ上がったときの不安を解消するための取組は、他市にはないと思いました。中1ギャップ、家庭科における問題点をお聞きすることができ、勉強になりました。

○小中連携の具体的な取組を聞くことができ、とても参考になりました。生徒の実態に違いはあってもできることはたくさんあることに気付きました。授業だけでなく、教室環境も参考になりました。

○授業に対する先生の思いや細部にまで気を遣った準備が伝わってくる素晴らしい授業を参観させていただき、感謝しています。多くの意見が出ていたため、更に今後バージョンアップした授業になるのだろうと思うと、同じように授業を行いたくなりました。

○ワークショップ型研究協議では、小中異校種の班だったので話合いが更に深まりました。また、指導者の話も大変貴重でした。

○保護者や地域との連携を図っていて素晴らしいなあと感じました。子供たちの役割分担がきちんとされていてスムーズに活動が出来る事、授業者の指示が明確で分かりやすく子供たちがすぐ反応していた事が印象的でした。何より、授業者や指導者のお話からいろいろな情報や指導技術を学ぶことができたことがよかったです。



グループで我が家の防災対策を伝え合い付箋で交流（青…同じ、赤…新たな対策）



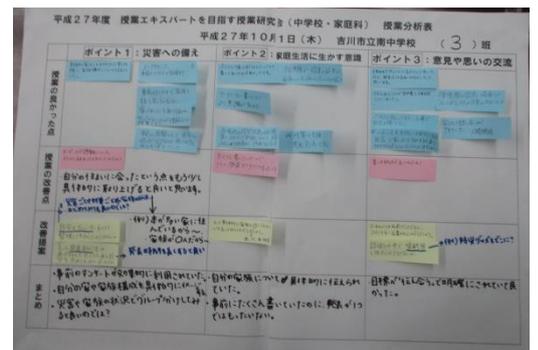
小中連携を意識した家庭科室の掲示



「吉川市防災マップ」から正確な情報を



活発な研究協議会の様子



授業分析表